

○レポート

数学教育の指導充実の取組

串山 義裕 教諭 北海道札幌西高等学校

① 取り組むきっかけ等

…以前勤めていた学校で学年主任を担当していた時、当時の管理職と教育局高等学校教育指導班指導主事より推薦があった。興味がないわけではなかったが、北海道の教育の発展に寄与すべきだと考え講師となった。

② 取組を通じて、達成したこと、満足したこと、うれしかったこと

…講義後の生徒の感想の中に、「感謝の気持ち」や「ためになったこと」、「学習意欲が高まったこと」などを目の当たりにし、大きなやり甲斐を感じた。また、教材の準備では自身が学び、研究し、教科指導力の向上につながった。さらに講師を続けていくうちに難関大学を目指す本道の最上位の子どもたちを指導する面白さと喜びを体得した。

③ 取組を進めるうえで苦労したこと

…学力の幅が広い子どもたちを指導するので、教材の開発に苦労した。難易度の調整にも時間をかけて丁寧に行った。その場面で初めて指導する子どもたちなのでコミュニケーションにも苦労したが、子どもたちを伸ばすという視点を常に意識し、苦労をやり甲斐に変えていった。

④ 取組を進めるうえで、日頃から心掛けていること

…子どもたちが目指す進路の実現のために尽力する。北大はもとより、北大を超える難関大学や医学部への進学ができるようにサポートしていく。これは北海道の教員（公務員）として北海道に対しての恩返しになると考えている。

⑤ 今後の取組について

…講師を担当すると自身の「学び」につながる。しかし私が若い時に経験させていただいたように、これからは若い先生方に経験させ力をつけさせたい。